

協力会社協働による作業所生産性向上策の応募要領について

作業所生産性向上委員会

● 目的・概要

作業所の生産性を向上させるには、協力会社との協働による作業所独自のアイデアをもとに具現化した取組みを情報収集し、会社全体に水平展開することが非常に有効です。そこで有効な情報の提供に寄与した協力会社及び作業所に対してのインセンティブとして表彰制度を導入し、併せて報奨金を授与することにより、より多くの優良な取組み情報を収集することにいたしました。

応募要項は以下のとおりです。日頃の業務で実施してきた工夫改善が会社全体に広く浸透するよう、積極的な応募をお願いいたします。なお審査選考過程において、弥生会のメンバーにも加わっていただきます。

===== 応募要項 =====

● 応募方法

○別紙の生産性向上策実施書を下記にもとづき、協力会社と協働で作業所単位で作成して下さい。なお、作業所単位での応募数には制限はありませんので、複数の応募が可能です。

⇒当初計画や従来のやり方から、協力会社との協働による工夫改善（省力化、省人化等）により費用や作業時間等の削減（生産性向上）が実現した取組み

● 応募先

対象作業所	所属	応募先
建築作業所	大阪本店管轄	大阪本店建築部品質管理室 森永照夫
	東京本店管轄	東京本店建築部品質管理室 鈴川 衛
土木作業所	西日本管轄	土木事業本部建設マネジメント室 山本 均
	東日本管轄	土木事業本部建設マネジメント室 田村泰史

● 問合せ：事務局までメールにてお願いいたします。

< 事務局：技術研究所 立松 e-mail: tatematsu-kazuhiko@asanuma.co.jp >

● 報奨金

各賞の名称	最大数量	報奨金(単位:円)	発表
社長賞	2編	200,000	○
優秀賞	2編	100,000	○
アイデア賞	2編	60,000	—
参加賞	50編	20,000	—

※初の試みであり、応募途中の件数や内容、課題等を検証するための中間審査選考（2018.11月頃）を開催し、課題解決策や授与編数等を最終決定予定。

※社長賞及び優秀賞は表彰式典において、発表いただきます。

◆生産性向上策実施書(記入例)

生産性向上策 実施書	①タイトル(テーマ名)	
	スラブ型枠支保工におけるユニットシステム採用による省人化・省力化	
②作業所名		③作業所職員名
○○△ビル新築工事 TEL:080-1234-****		作業所 氏名: 山本太郎
④実施書作成会社名		
会社名: 山本建設(株) 住所: 埼玉県茨木市○○町1-2-3		TEL 042-989-**** 職種 型枠工事
⑤実施書作成代表者氏名	⑥実施書作成協力者	
山本 太郎	山本二郎、田中一郎、田中次郎 計 4名	
⑦問題点または従来のやり方		⑧改善案(新しいやり方)と効果
スラブ型枠在来工法 (組立時) ・大引、根太パイプ、コンパネ設置等の段階作業かつ高所作業である。 (解体時) ・大引、根太パイプ、コンパネ撤去等の段階作業かつ高所作業である。 ・騒音(金属音等)が発生する。		スラブ型枠システム工法(△■工法) (組立時) ・大引、根太パイプの一体ユニット化かつアルミ製品のため軽量化となり、省人化・省力化・工期短縮及び高所作業の削減により安全性も向上する。 (解体時) ・組立時と同様の工期短縮及び安全性が向上する。 ・解体時の騒音低減効果も見込まれる。
⑨実施後の実際の効果		⑩効果金額
○定量効果 ・ユニット化による省人化・省力化 →大工6名×30,000円=180,000円 →レッカー(15t)費用(0.5台×2日)=▲80,000円 →ユニット損料=▲50,000円 ○定性効果 ・高所作業の削減:6名×4時間=24時間かつ無災害 ・騒音による苦情:0件		・180,000円-80,000円-50,000円 50,000円
⑪作業所長確認欄	作業所生産性向上ワーキング使用欄	
所長名: 浅沼太郎 確認日: 2018/04/26 ■応募可 □応募不可	受付日: 受付者: 参加賞 □採用 □不採用	

※1: ①～⑩すべての欄に記入し、⑪作業所長に提出して(作業所長から)事務局へ提出してください。

※2: 詳細説明資料を提出したい場合は、A4又はA3サイズで5枚まで添付可能です。